

地域再発見

一宮町 塩田地区

ウォーキングマップ

塩田しおだ



降矢姓の発祥した地であり、武田氏が甲斐に入ってくるずっと前から塩田長者（降矢対馬守）の広大な屋敷だった。敷地の四隅には今も守り地蔵が残っている。鎌倉街道・道者街道・中山街道が通り、町屋も発達し栄えた。



①道祖神(どうそじん)

大山祇命(山の神)を祀っていた場所に道祖神を移動して現在に至っている。1月の第2日曜日にはどんど焼きが行われ、火にかざした繭団子を食べみんなで健康を祈る。



②正傳院(しょうでんいん)

曹洞宗広蔵院の末寺。畑の中にある小さなお堂だが地元民に大切にされる。入り口にはかわいい六地藏が刻まれている。



③金山塚(かねやまづか)

塚上に金山彦命(高山の神)と庚申を合祀している。社は北に面し、塩山塩後にある秀森神社の金山塚と相対して、この間の地区は火事や盗難がおこらないと言われている。



④超願寺(ちょうがんじ)

山梨百八霊場36番。浄土真宗大谷派。織田信長石山攻めの合戦の祭、和睦に反対な教如(きょうによ)が放った矢文がある。現存している矢文は日本唯一のもの。本尊は恵心(えしん)作と言われ、体内に稲穂が入っている。



⑤楽音寺(がくおんじ)

塩田で一番古い寺。臨済宗。金剛力士像は明治40年の火災から免れた。300余りあったと言われてる古墳群(530年頃)のものも数基現存している。



⑥西町屋の地蔵(にしまちやのじぞう)

甲斐路(後の鎌倉街道)と道者街道が交わる辻にある。この辺りは町屋として栄えた所で、現在でも1月21日には地蔵の御札が近隣に配布されている。



⑦龍雲院(りゅううんいん)

曹洞宗広蔵院末寺。塩田長者の娘べんが父を弔うために開いた庵が始まり。赤い前掛けをした六地藏の背景に春には桜がきれいです。



⑧国立神社(くにたちじんじゃ)

祭神一國常立命(クニトコタチノミコト) 神道の根源神、国造塩海宿禰(コクゾウシオミノスクネ)。新年には拝賀式、秋には子ども会が神輿を出して御祭が行われています。金亀明神を合祀。降矢姓の由来となる矢石も残されている。



⑨古菊園(こぎくえん)

元々は、故古屋菊男氏の庭園。今でも桜の古木がある。子どもたちの遊び場になっており、毎週子ども会による清掃が行われている。



⑩手杵地蔵(てきねじぞう)

旧本通り(塩田長者屋敷表門)でした。かつては北町屋が存在していたとも言われ、今でも昔からの場所に地蔵と庚申が辻に立って歴史を見続けている。